

歴史の現場 ロマン体感

函館のNPO 木古内でツアー

【木古内】函館のNPO法人どうなん学びサポートセンターの会員ら16人が2日、木古内町内の歴史を学ぶツアーを行った。町内の大平遺跡（縄文前期）の発掘現場や江戸幕府の軍艦だった威臨丸の座礁沈没地点を望むサラキ岬などを見学。参加者は函館に近い木古内の歴史資源の豊かさに注目していた。

（久田徳二）

一行は町内の最勝寺も連携していききたいと話した。



大平遺跡発掘現場で、縄文土器に触れ、写真を撮る参加者たち＝2日

町観光協会副会長による木古内の文化・歴史についての講話を聞いた後、大平遺跡へ。縄文時代の住居跡を見たり、地面に半分埋まっている縄文土器に触ったりした参加者の一人は「古代のロマンを感じる」と話していた。

参加した同センター

の米田義昭理事長は

「木古内は縄文から幕末まで歴史資源が豊かな。新たな観光に力を入れていく地元と今後

北海道新聞(2010.10.8)



ツアー一行のサラキ岬の訪問